

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

令和二年を振り返って

会長 並木 道義

昨年はコロナウイルスに始まり一年中コロナ禍で終わつた気がします。皆さんはこのコロナ禍の中どのように過ごしていらっしゃいましたか？

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態でこれまでの生活とは大きく異なり、今まで行われていた様々な行事が取りやめになり、人の接触を極力避けることが求められ、日常の生活や経渓にも大きな影響を及ぼしています。

JAXA 相模原キャンパスも緊急事態宣言の発出期間は大学院学生を除いて何度か入構が禁止となり、現在、飛翔している九機の人工衛星、惑星探査機の運用管制やデータ収集を行う人以外のほとんどの職員はテレワークや自宅待機となり、会議もできる限りリモートで行うように命令されました。当会が全国の地域主催者とともにに行っている「宇宙の学校」は、子どもたち家族と地域家族がふれあいながら行う対面でのスクーリングを中止し、オンラインでの活動のみの開催となりました。



▲リニューアル後のホームページ

▲KU-MA オンラインショップサイト

宇宙の学校の地域主催者の中には、おうちでできる家庭学習につながる情報の資料を配布されたり、地域の状況によつては、感染症対策を行い小規模で独自にイベントを開催された地域もありました。

令和二年度、当会では、書面表決での理事会や総会、スマホやタブレット端末にも対応したホームページのリニューアルを行い、時間はかかりましたがオンラインショッピングを立ち上げ、講座や教材購入時のクレジット決済等ができるサイトを構築しました。会費や寄付なども将来的にはクレジット決済できるようになります。

また、コロナ禍ではありましたがあイベント等の依頼があり、地域の感染状況に応じて、対面でのイベント支援や教員研修、国分寺市おとな宇宙の学校、学校行事がなくなってしまった小学生への特別授業支援、オンラインでの研修会や講師リモートによるイベント支援なども行いました。

対面活動が主な活動である当会は大幅な収益ダウンが予想されるため、新たに自主事業としてKU-MAオンライン講座「宇宙の教室」を立ち上げ、関東近県だけでなく関西地域のご家族にも参加いただきました。

その他、オンラインでの会員向けセミ

ナーや宇宙の学校スタッフ向けの講演会なども実施し、大変好評をいただきました。今後も引き続き実施し、みなさまとの交流の機会を増やしていくたいと思っています。

いつの時代も社会の変化や厳しい状況下でも変わらないのは家族や人々とのつながりです。つらい状況も少しでも前向きにとらえ、豊かな未来のために今できることを行つてまいります。変わらぬご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

次ページでは、地球が感染症で不安な日々の中、無事に帰還した「はやぶさ2」に関する情報をお届けします。